

日本労働年鑑 戦後特集(第22集)
The Labour Year Book of Japan post war special ed.

第二篇 労働組合

第二章 主要なる労働組合

13 全日本電気工業労働組合

全日本電気工業労働組合(略称全電工)

(United Electric & Radio & Machine Worker's)

◇結成 廿一年四月十二日設立

◇組織 本部 東京都港区芝三田四国町日本電気内

支部、分会(廿三年二月末)

支部名

主な分会名	組合員	主な分会名	組合員
(1,000人以上)		(1,000人以上)	
山形・秋田(七分会・931名)			
宮城(三分会・816名)			
福島(四分会・924名)			
群馬(五分会・1,252名)			
茨城(一分会・765名)			
埼玉(四分会・1,880名)			
沖電気蕨分会	1,191		
東京(三七分会・17,860名)			
日本無線	2,800	沖電気品川	2,650
沖電気芝浦	1,700	明電社	2,049
北辰	2,700		
神奈川(二〇分会・25,294名)			

東芝堀川町	5,100	東芝柳町	2,400
東芝小向	2,200	日電玉川	3,000
安立吉田	1,350	日立戸塚	1,950
日本ビクター	1,400	富士通信	1,760
東芝本社	1,100		

信越(一五分会・4,802名)

山梨(準備会)(一分会・198名)

愛知(一二分会・9,843名)

日電大垣	1,800	三菱名古屋	3,500
------	-------	-------	-------

三重(五分会・5,596名)

東芝三重	2,345	神戸製鋼鳥羽	1,353
------	-------	--------	-------

京滋(五分会・3,384名)

日電大津	2,600
------	-------

大阪(八分会・1,955名)

兵庫(四分会・4,544名)

東芝網干	2,607	東芝餘部	1,850
------	-------	------	-------

九州(八分会・4,810名)

安川本社	2,210
------	-------

総数(一七支部・84,364名)

◇役員 委員長 落合 英一

◇綱領

一、われわれは働く権利を守り、労働を明るく生活を楽しむことの妨げになる、すべての力と不合理を排除するために力を合せて進む

一、われわれはあくまでも民主主義に徹底しこの団結を強くし、且つ大きくして、われわれの力で電気工業を発展させるために力をあわせて進む

一、われわれは他の労働者と共に働くすべての人たちの先頭にたって平和な国家の建設、民族の自由と独立のために力を合せて進む

一、われわれは世界の労働者とも手をにぎり、かわりなき世界の平和を打ちたてるた

めに力を合せて進む

◇産別に加盟→全労連

日本労働年鑑 第22集／戦後特集

発行 1949年8月15日

編著 大原社会問題研究所

発行所 第一出版

2000年2月1日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 戦後特集(第22集)【目次】 次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
